

## 論文審査結果の要旨

論文提出者	(氏名) 吉 永 修
論文審査委員	主 査 山 下 潤 朗 印
	副 査 坂 上 竜 資 印
	副 査 都 留 寛 治 印
論 文 題 目	咬合荷重下におけるジルコニアインプラント周囲骨組織の反応
<p>(論文審査結果の要旨)</p> <p>咬合の負荷がジルコニアインプラントの骨結合に与える影響を、ビーグル犬を使って調べている。主査と2名の副査が申請論文の仮説、研究方法、結果と結論、論理の流れを精査した。予備審査の公開発表会においては、論文提出者により研究全体の背景が明示され、方法、得られた結果をもとに論理的な考察がなされ適確な結論が導きだされた。審査委員からの疑問点に対して、論文提出者は丁寧かつ適切に回答し、納得のいく返答が得られた。</p> <p>本研究では1ピースタイプのジルコニアインプラントを製作し、ビーグル犬下顎大白歯部に埋入した。3ヶ月の治療期間後のジルコニアインプラント骨結合の状態と、さらに12ヶ月の咬合負荷を与えた後の骨結合の状態を比較した結果、ジルコニアインプラントの骨結合は咬合負荷を与えることにより向上する可能性があることをつきとめた。さらにジルコニアインプラントでは辺縁骨吸収を抑制できる可能性があることもつきとめた。これらの成果はジルコニアを応用したインプラント体のデザインを考える上で大変価値がある発見と考えられる。</p> <p>以上より、厳正な審査をおこなった結果、本論文を博士（歯学）の学位論文として適格であると認めたので、審査結果を合格とした。</p>	